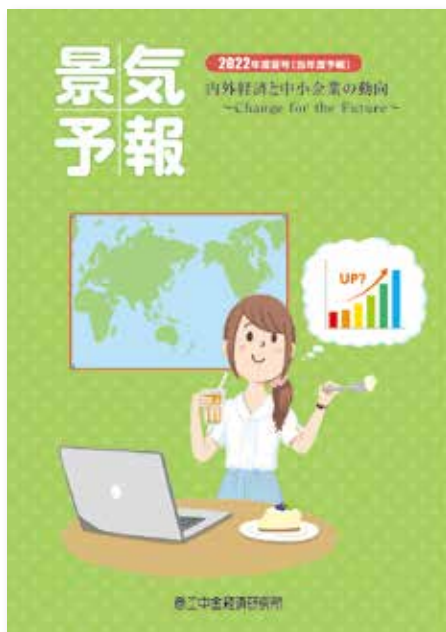


# 景気予報

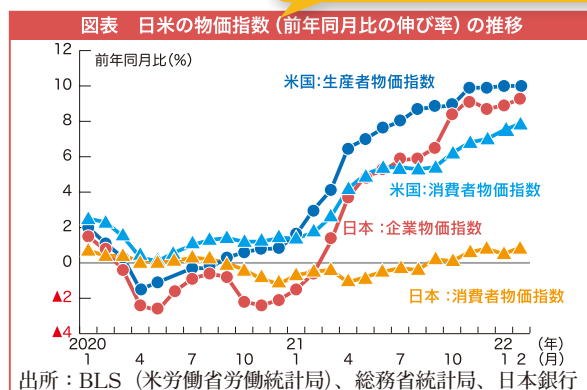
6月中旬  
発売予定

2022年度夏号(当年度予報)  
内外経済と中小企業の動向  
～ Change for the Future ～



A5判  
定価704円(本体640円)  
会員特別価格562円(本体511円)

わかりやすい図表  
内外経済や産業のダイナミズム  
が多角的にとらえられます



世界的にインフレ圧力が強まっています。原油等のエネルギーや原材料価格が高騰、また、半導体不足や物流の混乱といったボトルネックの問題も長引いている状況です。

各国はコロナ禍への対応として大規模な経済政策を展開、ワクチン接種の進捗もあり経済活動再開の動きが広がりました。コロナ禍で大幅に落ち込んでいた需要は急回復を示しますが、生産や物流のサプライチェーン(供給網)が需要急増に追いつかず供給不足が発生、物価上昇を招く結果となりました。

こうした状況は当初は「一時的」と見られていましたが、このところ長期化の様相を呈してきました。そこにウクライナ危機が発生、資源価格が軒並み高騰し物価上昇に拍車をかけています。

わが国の状況はより深刻です。長年賃金が

上がらなかった日本の消費者は価格に敏感であり、企業はコスト上昇の影響を十分に価格転嫁するのは難しい状況です。このままではわが国はジリ貧を脱することはできません。「成長と分配の好循環」の実現に向けて私たちは今まさに変わるべき岐路に立っています。今号のサブタイトルはそうした意味を込めて「Change for the Future」といたしました。

本書では、第1・2章で内外経済の状況を点検し、第3章で中小企業の動向を見ています。執筆にあたってはなるべく新しい景気指標をもとにわかりやすい図表と解説を心掛けました。また、身近な話題を取り上げたコラムコーナーは気軽な読み物としても楽しめる内容です。

本書が皆さまの経営環境の判断材料や研修資料として少しでもお役に立てれば幸いです。